



【おおたま・オータム・フェスタ】

おおたま学園とコミュニティ・スクール委員会では、心豊かな子どもたちを育成するためには様々な体験活動を充実させることが大切であると考え「おおたま・オータム・フェスタ」を昨年に引き続き実施いたしました。9月30日（土）には、小・中学校が合同で、学年ごとの内容で実施しました。また10月13日（金）には両幼稚園合同での実施となりました。活動までの経緯やご協力いただいた団体様につきましては、「おおたま広報12月号」にも掲載しましたので、併せてご覧ください。ご協力いただいた関係皆様に心より御礼申し上げます。

これからもさまざまな体験活動を通して、子どもたちに生きる力を育むとともに地域の活性化につながる事業に育てていきたいと思ひます。

写真番号	対象学年	内 容
①	両幼稚園児	幼稚園児と地域の方との交流イベント
②	両小1・2年生	昔遊びとグラウンドゴルフ体験
③	両小3年生	大名倉山登山
④	両小4・中1年生	安達太良ふれあい登山
⑤	両小5・中2年生	フォレストパーク スコアオリエンテーリング
⑥	両小6・中3年生	アートフィールドワーク

①子どもたちと息を合わせて班対抗リレー。大変盛り上がりしました。



②2年生は去年の経験を生かして、上手にたが回しができました。



③山頂で行った班対抗〇×クイズ。むずかしい問題にどの班も苦戦。



④ボランティアさんから山のお話を聞くのも貴重な体験学習です。



⑤地図を見ながら森を歩くのは、ちょっとした冒険。みんなで力を合わせて。



⑥みんなで作品を鑑賞。気に入った作品にポイントをつけました。



☆実施後のアンケートより

活動後に実施したアンケートでは、おおむね「よかった」というご意見をいただきました。特に子どもたちからは、他校生や上級生と交流できてよかった、大玉村の自然に感動したという意見を多くいただきました。しかしながら課題のご指摘もあり、この活動の意義をみんなが理解し、ねらいに沿った活動になっていたのかしっかりと検証し、今後の活動につなげていきたいと思えます。たくさん寄せていただいたご意見の中からはいくつかご紹介いたします。貴重なご意見ありがとうございました。

- お手玉が楽しかったです。心に残ったことは、おじいさん、おばあさんがやさしく教えてくれたことです。できるまでやさしく教えてくれました。(小2)
- 小学生とふれあいながら協力できたのでとても良かったです。これからは、大玉村の森や大地などの自然環境のことについての活動をしてみたいです。(中2)
- おじいちゃん、おばあちゃんに教えて頂いた遊びをうれしそうに家でも家族にやって見せてくれました。いろいろな年代の方にふれ、それぞれの学校の子どもたちとふれあうことで、豊かな心が育つのではないかと思います。(小1保護者)
- 小・中学生が交流することで、思いやりの気持ちがもてた活動だと思う。このような活動をすることで、親切の連鎖が起きると思います。(中1保護者)
- 班で協力しないとできない活動だったので、自然と子どもたちの距離は縮まり大変仲良く活動できており、そんな姿を見ることができて良かったです。(小学校教職員)
- 自分が今まで知らなかった大玉村を体験できて良かったです。(ボランティア)
- 上級生が下級生を見守る姿をほほえましく見ていました。(ボランティア)

【大玉村教育フォーラム】

今年度の教育フォーラムは、これからの時代を生きるために求められる教育を地域の人々で考えるきっかけとしたいという趣旨で開催いたします。地域の方々によるパネルディスカッションのあと、小グループに分かれてフリートークという2部構成となります。詳しくは後日配付するチラシをご覧ください。今、子育て真っ最中の方はもちろん、子育てを卒業した世代の方も大歓迎です。大玉村が進める教育について一緒に考えてみませんか。

日 時：平成30年1月29日(月) 18:30～20:30

場 所：大玉村農村環境改善センター



昨年度教育フォーラムのアンケートより

- 子どもたちの幸せを各世代の人たちが考える。とても勉強になります。(保護者)
- 子どもの成長のための意見やお話をたくさん聞く事が出来てとても良かったです。(保護者)
- 村の良さを知る機会を大切にしたい。子どもたちがもっと村を知る活動を取り入れたいと思った。(教職員)
- 子どもを育てることは年老いた自分が育っていくことと感じた。(地域住民)

「1オンスの体験は1トンの理論に勝る」という言葉があるそうです。「何かを学ぶためには、自分で体験する以上にいい方法はない。」とはデューイの言葉です。

子どもたちだけに限らず、我々大人達も、いろいろなことにチャレンジして体験し、学び続ける姿勢を失わずにいたいものです。

コミュニティ・スクール

ディレクター 伊藤由美子

H29/12/14 発行 おおたま学園コミュニティ・スクール委員会
(事務局：大玉村教育委員会内 連絡先：48-3138)

